

日本薬学会第124年会
日本バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 ランチョンセミナー

Bio-Plex サスペンションアレイ： 微量検体における多数タンパク質同時測定と創薬への展開

日時：平成16年3月29日(月) 12:30~13:30

会場：ハイアット・リージェンシー・オーサカ ボールルーム C(F 会場)

ヒトゲノムの解読に伴い、ゲノム情報を創薬、診断、治療にいかにより還元できるかが重要な課題となっている。

もとより薬剤の標的とされるシグナル因子や確定診断に用いられる各種マーカーは単独で働くというよりはむしろ他の分子と相補的に働くので、多数を同時に測定した方が全体の見通しが良くなることは明らかである。この多数の同時測定を可能にする技術こそがポストゲノムの医療において必須であるが、従来法では限界がありブレイクスルーが求められていた。

Bio-Plexシステムは蛍光ビーズを用いたサスペンションアレイと呼ばれる新しいタイプのアレイで、微量の検体から、多数のタンパク質を、同時に、短時間で測定することが可能である。平面型のアレイに比べ感度が著しく高く、pgオーダーでの多項目同時解析を可能とする特徴を持つ。

今回のセミナーでは、サスペンションアレイの技術とその応用の成果について、ポストゲノムの創薬と臨床への応用を中心に紹介したい。

◆ 演者

Sophie Allauzen, Ph.D.

Assay Development Manager, Protein Function Division R&D
Bio-Rad Laboratories Inc, CA, USA

Erik Willis

Strategic Marketing, Protein Function Division
Bio-Rad Laboratories Inc, CA, USA

共催
日本薬学会第124年会
日本バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社